

登録コード	HM248209	開講年度	2026				
授業題目	医療生命科学特別研究					担当教員	木村 文一
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Health and Medical Sciences					副担当	
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	医療生命科学ユニット／1～3年次
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	臓器の形態学的変化を、情報工学技術（画像解析技術・機械学習技術）ならびに免疫組織・細胞化学などの病理・医学的技術と関連づけて説明できるようになる。
(2)詳細/Detailed information	将来、病理検査室で診断業務に従事したり、研究所で研究に赴いた際に通用する高度の知識と技術を身につけてもらうことを目的としている。細胞周期関連タンパク質や細胞分化に関わるタンパク質の性質を理解し、分子生物学的技術や情報工学的技術を駆使してさまざまな疾患について研究をおこなう。そして病理検査に関わる細胞周期関連タンパク質や細胞分化関連タンパク質がどのように各疾患について関係しているか、説明できるようなることを目標としている。						
(3)授業の概要/Overview of course	本授業は担当教員の病理学・細胞学分野における実務経験ならびに研究経験を活かして講義ならびに研究指導を行うものである。 形態学的変化と病態と関連付けて分析／解析することにより研究を指導する。						
(4)授業計画/Course plan	形態学的変化を、情報工学技術（画像解析技術・機械学習技術）ならびに免疫組織・細胞化学と関連づけて探求する。ヒトや動物の組織・細胞を用いて各種解析を行う。 日時は受講学生と検討の上、決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに複数回の指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 1. 研究テーマに関する先行文献の検討を行う。 2. 研究テーマを設定する。 3. 研究テーマに基づく研究計画を立案する。 4. 倫理審査を受審し、承認を受ける。 5. データ収集。分析を行う。 6. 学位論文をまとめる。 7. 研究成果のプレゼンテーションを作成する。 8. 学位論文発表会においてプレゼンテーションを実施する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究への取組状況、研究発表ならびに博士論文を総合的に評価する。 評価の基準は研究成果を論文化するために足る最低限の結果に至った場合は「水準にある」（可）、与えられた課題解決のため、指導に従い十分な成果がえられた内容であれば「やや上にある」（良）、あてられた課題につき、自身で能動的に克服し、成果が得られた内容であれば「かなり上にある」（優）、自身で能動的に課題を見出し、それを自身で能動的に克服、成果が得られた内容であれば「卓越している」（秀）と判定する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	授業および研究ミーティングは隔週（もしくは2週間に1回、月一回、進捗によって変更）に受講学生と検討の上で実施する。 【事前学習について】 授業や研究ミーティングの終わりに、次回までに調べてくるべき内容(事前学習・予習)について説明を行います。 【事後学習について】 授業や研究ミーティングのはじめに、前回に取り上げた内容の要点について事後学習・復習してきた内容や、能動学習として学んできた事に対して質問・確認を行いますので、自分の言葉で端的にわかりやすく説明できるように準備して授業や研究ミーティングに臨んでください。 テキスト、教材、参考書については適宜必要なものを提示します。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問および相談は随時受け付ける。 オフィスアワー kimura_f@shinshu-u.ac.jp 随時（要事前連絡）						
(8)授業の形式/Course format	講義および実習						